

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入しており、近隣の小学校の運動会に参加し玉入れ等を行ったり、町の文化展、特別養護老人ホームに招待される等地域住民と交流を図っている。年1回消防署を呼び避難訓練を行っている。当医療法人主催の夏祭りには近隣住民が多数参加し交流を図っている。同敷地内にある医院の診療の帰りや近隣の人達が立ち寄り利用者と交流し認知症の理解を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は家族会と併用して2～3か月毎に開催。参加者は家族、民生委員、老人会、駐在所警察官、婦人会、役場介護保険課職員等である。会議で出された家族等の意見、要望はスタッフ会議等で検討し実現に向けて取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	月1回以上役場に出向き情報交換等を行なっている。医療法人が母体のため役場職員、地域包括支援センター職員がよく訪問があり連携を深めている。職員が順番に認知症の研修会（バリデーションセミナー等）に参加し、全職員にフィードバックしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会は2～3か月に1回開催し、利用者、家族の要望や意見を管理者、職員でミーティングを行い、意見交換し改善に努めている。又、ホーム便りは家族が面会時に利用者の状態報告を兼ねて手渡ししたり請求書と一緒に送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

②項の運営推進会議が過去1年間に6回以上開催が出来ていないが他項は確認できた。①項の医療法人主催の夏祭りは地域ボランティアの協力で盛大に開催され毎年利用者や地域の方々を楽しみにしている。③項の役場職員との連携は特に多く情報交換等は月1回以上行はれている。④項の家族会はほとんどの家族が出席し意見、要望等が運営に反映されている。またホーム便りは毎月送付し、ヒラソル便りは年に数回発行し情報が家族に届けられている。